



# 日光市国際交流協会会報



特集：ラピッド市中高生受入・派遣事業



## ラピッド市中高生受入事業

日光市と海外姉妹都市であるラピッド市は毎年夏に、中高生の相互交流を行っています。今年は、7月15日から23日までの9日間、ラピッド市の中高生4名、付添者1名の計5名が日光市を訪れました。

滞在期間中は、ホームステイをしながら、日光東照宮や日光江戸村、足尾銅山など市内の主な観光スポットを見学。また栗山地域での囲炉裏料理体験や、茨城県大洗町での海水浴体験を楽しみました。今市高校の訪問では、生徒たちと着物の着付け体験をしたり、夏祭りの遊びを体験したりして、日本文化に触れながら交流を深めました。

協会主催の歓迎会、お別れ会では、今回ラピッド市へ行く日光市の高校生たちとともに多くの協会の皆さんが参加し、食事をしながらの歓談やゲームなどを楽しみました。



斎藤文夫市長を表敬訪問



木彫りの里で日光彫の職人技を体験



サンショウウオにちょっと困惑



日光江戸村で忍者と一緒に  
(右から二番目のセオ君、目が本気です)



今市高校で夏祭り体験



日光市の高校生たちと初めての海へ

## ホストファミリー体験Q&A

☆今年で二回目のホームステイ受入れを経験した、北村幸栄さんにお聞きしました。今年の夏、北村さんはラピッド市中高生受入事業で訪れたブリタニーさん（当時高校3年生）を受入れてくださいました。

Q ■ホストファミリーを始めようと思ったきっかけは何ですか？

A □自分ではホームステイに行きたくても、小さい子どもがいて行けないので受入れをしよう！と思ったことです。

Q ■ホストファミリーをして良かったと思ったことは何ですか？

A □留学生たちだけではなく、他のホストファミリーとも知り合いになり沢山のひとと交流ができたことです。



Q ■受入れをしていて、思い出に残っていることは何ですか？

A □言葉がわからなくてもコミュニケーションをとれる子どもたちの姿です。伝えたい！それだけの気持ちがとても大切だと実感しました。

写真：今夏受入生のブリタニーさんと、遊園地にて  
(写真左より北村さん、ブリタニーさん、北村さんの娘さん、ご友人)

Q ■今夏の受入れで、思い出に残るエピソードなどはありますか？

A □那須ハイランドパークへ出掛けハイテンションな一時を一緒に過ごしたことです。怖がりなわたしは、乗り物にのり高い所でホールドミー（ぎゅっとして！）と叫んでしまい、彼女（今夏受入生）にぎゅっとしてもらって下まで降りました。

Q ■ホームステイ受入れを考えているご家庭に一言、アドバイスをお願いします！

A □とても濃い刺激のある1週間が過ごせます！お子さんがいるご家庭は特に子どものすこさを感じるかと思います！

☆ラピッド市中高生受入事業以外にも、当協会の多くの事業はホストファミリーボランティアをはじめとしたボランティアの方々によって支えられています。ラピッド市の中高生が学び深い楽しい夏を日光で過ごせるのも、ひとえにホストファミリーの方々のおかげです。

☆当協会では、ホームステイ受入れをしてくださるご家庭を随時募集しています。詳しくは当会報最後のページをご覧ください。

## ラピッド市中高生派遣事業

今年の派遣事業は、7月23日から8月3日までの日程で、市内の高校生7名がラピッド市を訪問しました。

滞在中は、市長の表敬訪問をはじめ、マウントラッシュモアやクレージーホース、カスター州立公園など地域の歴史や自然を感じる事の出来る数多くの名所を訪れました。この他にも、ラピッド市の協会メンバーのご好意で、関係者が働くテレビ局や消防署の見学など観光名所以外の施設も見学する機会があり、とても有意義な時間を過ごしました。また、受入れの手配や連日のツアーに同行して下さった協会メンバーをはじめ、歓迎会やお別れ会にはホストファミリーや協会役員などが参加して下さるなど、現地では多くの方々が滞在中の活動をサポートして下さいました。

ラピッド市滞在後は、昨年を引き続き、今年もサウスダコタ州に隣接するミネソタ州に1泊し、セントポール大聖堂やサミットアベニューの街並みを見学するなど、最後まで充実した12日間となりました。



新たに就任したアレンダー市長  
初めての姉妹都市交流



地元テレビ局見学では、貴重な体験も



消防署長と協会メンバーのオリバーと一緒に



カスター州立公園でロバの餌やりをしました



新緑のラフロックフォールズをハイキング



ミシシッピー川に向かってピース

### ～派遣生の作文～

県立栃木女子高等学校2年 鈴木 千珠

「もしあなたが一人で旅をしていても、あなたは一人ではありません」  
フェアウェルパーティーでのこの言葉が強く心に残っています。それは、この言葉が私たちの10日間を象徴しているかのようだったからかもしれません。

私にとって初めての海外経験で、見渡せば知っている顔は誰一人としていませんでした。空港からステイ先までの道のりでは、何を話していいかわからず日本人の友達と顔を見合わせるばかりでした。それからは毎日英語を使う日々で、失敗もしましたが、同時に感情を共有できたときの喜び、言葉が通じたときの喜びが大きかったです。また、相手とコミュニケーションを取る上で、難しい文法や長文よりも大切な力を身に付けられた気がします。言語の壁があったとしても、一番大切なのは伝えようとする心、理解しようとする心なのだと思います。

ホストファミリーデー\*では湖に行きボートに乗ったり、アミューズメントパークでゴーカートに乗ったりして沢山の思い出を作ることができました。私達に簡単な英語で話しかけてくれたり、色々な体験をさせてくれたりしたホストファミリーとのつながりを、これからも大切にしていきたいです。

ホストファミリー以外にも、ラピッド市の方々が温かく歓迎して下さい、様々な活動に協力して下さいのおかげで私達は本当に充実した10日間を過ごすことができました。これらのつながりや、沢山の思い出は私の今後の心の中で消えずに生き続けると思います。

また、世界に誇れる日光を若い世代として支えていきたいと思うようになりました。ラピッド市と日光市の姉妹都市関係に、これからも貢献していきたいです。

\*ホストファミリーデー…ホストファミリーと一緒に過ごす日



## イベントレポート



### 5月17日 平成27年度総会

平成26年度事業計画及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算が承認されました。

総会終了後、「ブライダルパレスあさの」にて会員相互の親睦と交流を図るための懇親会を開催しました。

### 5月20日～24日 栃木県日中友好協会訪中団参加

当協会大橋会長と、山田副会長兼企画・広報副部長が栃木県日中友好協会の訪中団に参加し、上海・江南地方を訪問しました。

### 栃木県日中友好協会訪中団に参加して

日光市国際交流協会長 大橋 芳明

本年5月20日から24日までの5日間、当協会の顧問である河合正男氏の要請により訪中団を結成した栃木県日中友好協会の方々とともに私と副会長の山田功氏の二人が上海・江南地方を訪問して参りました。

南京市では、県友好協会の理事でもある河合氏が同市にある中国傳媒大学南広学院で教鞭をとっておられたことから、ジャーナリストやアナウンサーなど中国マスコミ界のトップを目指す学生たちと交流する機会を得ました。大講堂を埋め尽くす学生たちの華やかな歓迎演目が繰り広げられ、河合氏指揮の「北国の春」の大合唱もあり興奮冷めやらぬまま幕が閉じられました。近くて遠い国という印象の中国でしたが河合氏を慕う学生たちの姿を見て親近感を持った次第です。

この外、南京記念館では訪中団の献花が行われました。日中戦争がもたらした不幸な時を乗り越えた新しい時代を築かなければならないと感じた所ですが、そのためには私たち市民レベルの国際交流がより求められているのだと実感した訪中でもありました。



## 5月23日 フリートーク異文化理解 ～デンマーク編～

5月23日、豊岡公民館にて「フリートーク異文化理解～デンマーク編～」が開催されました。デンマークから日光市内へ国際ボランティアとして来日していたトリーネさんをゲストに、23名の方が参加されました。

トリーネさんは、北欧デンマーク、オーデンセ出身の23歳（当時）。本国では小学校の先生をしています。

はじめに、トリーネさんにデンマークという国についてプレゼンテーションをしてもらいました。アンデルセン童話で有名なデンマーク、実はアンデルセン自身がオーデンセ出身だそうです。デンマークの食文化、トリーネさんの家族のことなどなど……みなさん、じっくりと聞き入っていました。その後、ボンスヴィアと、ハウワゴインスクーラというデンマークのお菓子をいただきました。

メインイベントであるフリートークではそれぞれのグループに分かれ、席替えをしながら英会話を楽しみました。トリーネさんも参加し、みなさんと熱心にお話をしていました。



日本語が大好きなトリーネさん



レゴブロックでお馴染みのデンマーク



ボンスヴィア（前）と  
ハウワゴインスクーラ（後）



皆さん、デンマークの文化に興味深々!



記念品の日光筆を受け取り、にっこり

### Brunsviger ～ボンスヴィアのレシビ～

ボンスヴィアは、オーデンセ生まれのバターと砂糖が香る美味しいお菓子。トリーネさん直伝のレシビです！コーヒーによく合います！ お試しあれ！

#### ★材料★

～生地材料

- ◎薄力粉 250g      ◎砂糖 25g
- ◎ベーキングパウダーまたはイースト 25g
- ◎牛乳 150ml（イースト使用の場合は温める）
- ◎室温に戻したバター 25g

～トッピング材料

- ◎バター 125g      ◎三温糖 150g

#### ★下準備★

- ・生地用のバターを室温に戻しておく（柔らかくしておく）
- ・オーブンを180℃に予熱しておく

#### ★作り方★

- ① 薄力粉、砂糖、牛乳を混ぜ、室温に戻したバターを少しずつ混ぜ込みながら生地が固まるまでこねる
- ② ①の生地をボウルに入れ、20分ほど暖かい場所で寝かせる
- ③ トッピング用材料（バター、三温糖）を鍋に入れ、混ぜるまで弱火で溶かす
- ④ めん棒を使って②の生地を伸ばしたあと耐熱パットに入れ、トッピングが流れ出ないように、指の先で生地にくぼみを入れる
- ⑤ ③のトッピングを④の生地の上に流し、20分ほど置く
- ⑥ 180℃に温めておいたオーブんに⑤を入れ、12分～15分ほど焼く



## 6月14日 作って食べよう世界のごはん ～インド編～

サクシード日光にて当協会人気イベントの料理講座「作って食べよう世界のごはん ～インド編～」が開催されました。

定員いっぱいの約30名の方に参加いただき大盛況。今回は講師としてクマール・ゴラブさんをお招きし、本場インドのカレー作りを楽しみました。スパイスを炒めるところから作り始めるカレーにみなさん興味深々！クマール先生の丁寧なアドバイスをいただきつつ、おいしく作ることができました。

今回のメニューはチーズのカレー（パニール・ブルジー）とたまごのカレー（アンダーカリー）の二種類。そしてココナッツフレークとスパイスを使ったあま〜いデザートも！カレーを通じてインドの家庭料理、インドの文化が垣間見えたのではないのでしょうか。実施後「またやってほしい！」「スパイスから作るカレーは大変興味深かった」とのうれしい声が聞かれました。これからも「胃」文化理解が進むようなイベントを企画・実行していきたいと思えます。



シンプルな材料ですが、スパイスを上手に使います



調理中、先生とこんな場面も



自分で作ったインドカレー、どうですか？



こちらは大テーブルでわいわい♪



子どもたちも頑張りました！



若者テーブル、盛り付けセンスが違います！

# International Association

## 8月29日 国際交流ポットラックパーティー

国際ボランティアプログラムで市内に滞在していたウクライナ、韓国、ロシア、インドネシアの方々をお迎えし、ポットラック（持ち寄り）パーティーを開催しました。

日本人の参加者はキッシュやピラフ、巻き寿司などの得意料理を、外国人参加者はチヂミなどの各国の伝統料理を持ち寄り、バラエティあふれるパーティーとなりました。

お料理や歓談を楽しみ交流を深めながら、それぞれの母国の風景や文化・風習について、画像を交えて紹介していただきました。いずれのお話も大変興味深く、他国の文化に対する理解も深まりました。



料理を囲んで、みんなで乾杯!



お隣の国でも、知らないことが沢山あります



料理を楽しみながら、各国紹介タイム



美味しい料理、  
楽しい時間をありがとうございました♪

## 日本語教室

毎週第1・2・4木曜日に市民活動支援センターにて日本語教室を開催しています。

台湾、ベトナム出身をはじめとした在住外国人学習者が毎回1~5名程度参加し、熱心に学習をしています。レベルに合った内容をマンツーマン、または2~3名のグループで学習しています。

☆日本語を教えるボランティアの方を随時募集しています。詳しくは当会報最後のページをご覧ください。



毎週楽しく、真剣に学習しています



## 今後の予定

- 11月28日(土) ■宇都宮大学地域連携事業 世界遺産 NIKKO+1 第4回足尾今市エリア(参加申込は締め切りました)
- 12月13日(日) ■4部会合同「やるべえや」映画上映会 於 日光街道ニコニコ本陣多目的ホール
- 12月20日(日) ■国際交流パーティー 於 日光市中央公民館

※会員の方には随時お知らせいたしますので、是非ご参加ください。

## お知らせ

### ◆会費納入について

まだ平成26年度・平成27年度分の会費納入をされていない方は、下記の方法により納入してください。

- ①現金を協会事務局へ持参
- ②当協会預金口座に振込(手数料は各自負担)

※振込先の金融機関については事務局にお問い合わせください。

### ◆会員募集のお願い

当協会では、随時会員を募集しています。国際交流に興味のある方をぜひお誘いください。

◎年間会費(会員資格は毎年4月自動更新)◎

個人…3,000円 家族…5,000円 法人…10,000円

### ◆E-mailでの情報提供

経費節減のため、E-mailで通知やイベント情報をお送りしています。ご協力いただける方は事務局にご連絡ください。※データ容量が大きい場合があるため、携帯電話のアドレスはご遠慮ください。

### ◆各種ボランティア登録済みの方へのお願い

この度、ボランティア名簿更新のため、当協会各種ボランティア(ホストファミリー、日本語ボランティア、学校支援講師、翻訳・通訳ボランティア)登録済みの方へボランティア継続の意思をご確認する通知を送付することになりました。お手元に届いた際は、内容をご確認の上、継続の意思がある方は期日までに事務局へご連絡ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 募 集

### ◆ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。

### ◆日本語ボランティア

在住外国人向けの日本語教室にて、日本語を教えていただけるボランティアを募集しています。資格・経験等は必要ありません。学習者に日本語を教えてみませんか?

教室の見学も随時受付中です。(3月～6月、9月～12月の第1・2・4木曜日。場所:日光市市民活動支援センター)

### ◆国際理解のための学校支援講師

当協会では、子どもたちに国際理解の大切さを学んでもらうため、市と協力して市内の小中学校に異文化を紹介する外国人の学校支援講師を派遣しています。自国の文化(歴史、料理、音楽、舞踊等)を児童・生徒に紹介していただける外国人の方を募集しています。お知り合い、興味のある方にもぜひお知らせください。

### ◆翻訳・通訳ボランティア

当協会と市が発行する資料等の各種言語への翻訳や、海外からの訪問者の通訳などにご協力いただける方を随時募集しています。資格等は必要なく、言語は問いません。ご協力をお願いします。

※興味のある方・登録を希望される方は、お気軽に下記事務局までご連絡ください。

### 協会データ

個人会員	232名
家族会員	25家族
法人会員	52社

### 外国人登録者数

663名

平成27年11月1日現在

お問い合わせ

日光市国際交流協会事務局(日光市観光部観光交流課内)

〒321-1292 日光市今市本町1番地 TEL 0288-21-5196 FAX 0288-21-5121

E-mail kankou-kouryuu@city.nikko.lg.jp ホームページ <http://www.nikkocity.org>

★ Facebook ページを開設しました。「日光市国際交流協会 facebook」で検索!